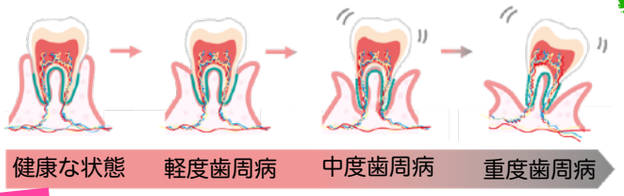
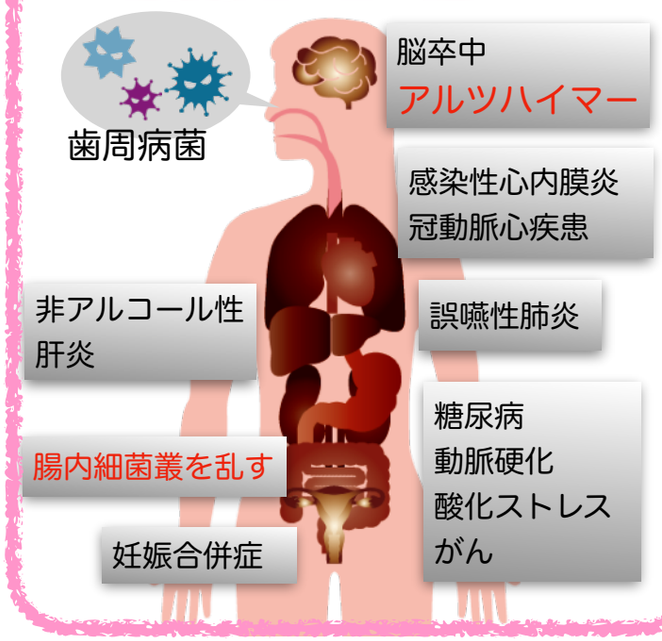
歯周病（特にP.g.菌）のお話

歯周病とは、細菌の感染によって引き起こされる慢性的炎症性疾患で、歯の周りの歯ぐきや、歯を支える骨などが溶けてしまう病気です。進行すると最後には歯を抜かなければならなくなってしまいます。

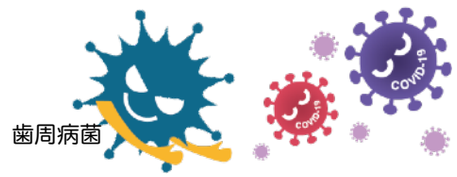


それだけじゃない！！

歯周病が引き起こす全身疾患リスク



歯周病菌はウイルスと仲良し



歯周病の方は、そうでない方に比べて**新型コロナウィルス**に感染したとき、**死亡リスクが8.81倍**になってしまうという報告があります。歯周病菌が、ウィルスを招き入れてしまうレセプターを持っていることと、歯周病菌によって歯茎が傷付けられウィルスが侵入しやすくなっているからだそうです。

歯周病菌悪性別・感染年齢ピラミッド

口臭の原因も歯周病かも

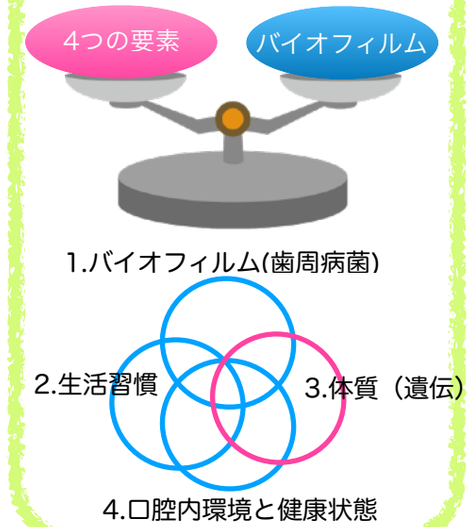
舌苔が原因のときは「生理的口臭」と呼ばれ、舌磨きで改善します。一方「病的口臭」と呼ばれる口臭の原因は「歯周病」です。もし、舌磨きをしても改善されないときは、歯周病を疑ってみましょう。

歯周病の発症リスク

喫煙		2.1~5.2
年齢	35~44歳	1.7
	45~54歳	3.0
	55~64歳	4.1
	65~74歳	9.0
糖尿病		2.3
男性		1.5
肥満（BMI ２５以上）		3.4
肥満（BMI ３０以上）		8.6
アルコール摂取(33g以上)		2.7
歯磨き2回未満		1.4

歯周病を発症させないためには

歯周病菌は感染＝発症ではありません。発症させないように、生活習慣などの４つの要素が関係します。



バイオフィルムとは

バイオフィルムとは「バイオフィルム」とは歯の表面についた細菌の集団（塊）です。歯の表面についた様々な細菌がマトリックスと呼ばれる粘着性の強い物質を作り出し、マトリックスの中に細菌を包みます。本来細菌に効くはずの、抗菌剤や免疫細胞などが効かなくなります。薬が浸透しないのです。
バイオフィルムは水に溶けないので、お口を濯いでも取れません。バイオフィルムの中で細菌はどんどん増殖していきます。汚れ（プラーク）はブラッシングで落とすことができます。歯石になると、ブラッシングでは取れないので歯科のクリーニングで綺麗にしましょう！

クルクミン

ウコンの
ポリフェノール
（クルクミン）が
P.g.菌に効果があります

P.g.菌のPCR検査

45分！

歯石を取って検査します。
P.g.菌の有無の検査を行い、
P.g.菌が検出された場合は
PG菌Ⅱ型の有無
の検査を行います。

© GranPro Dental Clinic GINZA